

令和7年度特別の教育課程の届出書 令和6年度特別の教育課程実施報告書



【 記 載 例 】



【主な変更点について】

- ①「障害」を「障がい」と表記します（県が新たに作成する公文書等において）。

【引き続き注意が必要なところ】

- ① 記載例（P13）原則として、交流学級で学ぶ時間は、週の授業時数の半分以上にならないように設定します。

第2 特別支援学級に在籍する児童生徒の交流及び共同学習の時数について

- また、「障害のある子供の教育支援の手引」にあるように、特別支援学級に在籍している児童生徒が、大半の時間を交流及び共同学習として通常の学級で学んでいる場合には、学びの場の変更を検討すべきであること。言い換えれば、特別支援学級に在籍している児童生徒については、原則として週の授業時数の半分以上を目安として特別支援学級において児童生徒の一人一人の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた授業を行うこと。

参考資料：令和4年4月27日付け4文科発第375号

「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（通知）」

限定公開動画URL及び二次元コード（公開期間 令和6年12月24日～令和7年2月8日）

https://youtu.be/2_Jgguzakte



令和6年12月

中 南 教 育 事 務 所



目 次

1	特別支援学級における特別の教育課程の届出書（小・中学校）……	1
2	特別支援学級における特別の教育課程実施報告書（小・中学校）…	1 4
3	通級による指導に係る特別の教育課程の届出書（小・中学校）…	1 5
4	通級による指導終了報告書（小・中学校）……………	1 6

(特別支援学級用)

〇〇〇〇〇第〇〇〇号
令和〇〇年〇月〇〇日

〇〇〇教育委員会教育長 殿

※市町村教育委員会
の定める日

小
〇〇〇立〇〇〇 学校 校長 〇〇 〇〇 印
中 (公印省略)

特別支援学級における特別の教育課程の届出書 どちらでも可

本校の特別支援学級 〇〇〇学級 にかかる令和〇〇年度の教育課程を下記のとおり編成したので、お届けします。

※当該学校で定めた名称を記入する。

記

1 学級の種別 〇〇〇〇〇

※知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴等、障がいの種別を記入する。

2 学級の在籍状況

※愛護手帳（療育手帳）を有する場合、記入する。

【小学校記載例】

学年	1	2	3	4	5	6	備考
障がい種別							
知的障がい			1			1	運動障がい（3年） 言語障がい（6年） ※愛護手帳B（6年）

【中学校記載例】

学年	1	2	3	備考
障がい種別				
自閉症スペクトラム障がい	1		1	言語障がい（1年） 学習障がい（3年）
広汎性発達障がい			1	軽度知的障がい（3年）
計	1		2	

※主たる障がい名を記入する。
※各学年の人数を記入する。

※備考欄には、重複障がいがある場合、その障がい名（学年）を記入する。
※各市町村教育支援委員会等の資料に基づいて記載する。

3 学級の教育目標

※学級の教育目標のみを記入する。
〔記載例〕 なかよく、たすけあう子
さいごまで、がんばる子
すすんでうんどうする子

4 指導の重点及び教育課程編成の方針

(1) 指導の重点

※学級における指導の重点及び教育課程の編成の方針を簡潔に記載する。

(2) 教育課程編成の方針

※各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えた例。検討の手順②で編成した場合。

[○○○立○○○小学校]

※「検討の手順②」で編成した場合は、斜線にする。

※自立活動の時間 35
は、国 35 から。
なお、少なくとも
35 時間は設定する
ことが望ましい。

※自立活動の時間 35
は、算 35 から。
なお、少なくとも
35 時間は設定する
ことが望ましい。

(1) 各教科等

[○○○立○○○小学校]

【記載例②】における各教科等の記載例

《3年生》

教育課程	指導内容の分類 (内容上の区分)		指導の形態 (指導上の区分)	
	※生活（特）の内容は、合わせた指導において行うので、指導上の区分には記載しない。		日常生活の指導	各教科等を合わせた指導
			生活単元学習	
	各教科	生活（特）		
		国語		
		算数		
		音楽		
		図画工作		
		体育		
	特別の教科 道徳		特別の教科 道徳	
外国語活動		外国語活動		
総合的な学習の時間		総合的な学習の時間		
特別活動	学級活動	学級活動	特別活動	
自立活動		自立活動		

- ・学校行事、児童会活動は、交流学級の一員として参加する。

【各教科等を合わせた指導の関連教科・領域】

- ・日常生活の指導…生活（特）、国語
- ・生活単元学習…生活（特）、国語、算数

※「各教科等を合わせた指導」について、関連する教科等を文章で記載する。

※特別支援学校（知的障がい）の教科には、社会、理科、家庭、外国語は設定されていない。

合わせた指導の教科を記載する際には**社会、理科、家庭、外国語**は記載されないことになる。

「〇〇〇立〇〇〇小学校」

	指導内容の分類 (内容上の区分)	指導の形態 (指導上の区分)																						
教育課程	※生活（特）の内容は、合わせた指導において行うので、指導上の区分には記載しない。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="9" style="text-align: center; vertical-align: middle;">各教科</td> <td style="text-align: center;">生活（特）</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">国語</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">社会</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">算数</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">理科</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">音楽</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">図画工作</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">体育</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">外国語</td></tr> </table>	各教科	生活（特）	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	体育	外国語	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">生活単元学習</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">各教科等を合わせた指導</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">国語</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">社会</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">算数</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">理科</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">音楽</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">図画工作</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">体育</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">外国語</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科別の指導</td> </tr> </table>	生活単元学習	各教科等を合わせた指導	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">国語</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">社会</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">算数</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">理科</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">音楽</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">図画工作</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">体育</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">外国語</td></tr> </table>	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	体育	外国語	教科別の指導
	各教科		生活（特）																					
			国語																					
			社会																					
			算数																					
			理科																					
			音楽																					
			図画工作																					
			体育																					
		外国語																						
生活単元学習	各教科等を合わせた指導																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">国語</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">社会</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">算数</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">理科</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">音楽</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">図画工作</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">体育</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">外国語</td></tr> </table>	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	体育	外国語	教科別の指導															
国語																								
社会																								
算数																								
理科																								
音楽																								
図画工作																								
体育																								
外国語																								
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳																							
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">特別活動</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">学級活動</td> </tr> </table>	特別活動	学級活動	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">学級活動</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">特別活動</td> </tr> </table>	学級活動	特別活動																			
特別活動	学級活動																							
学級活動	特別活動																							
自立活動	自立活動																							

- 5 –

(2) 概要

【記載例②】における記載例
《3年生》

※交流学級で学習している場合でも、特別支援学級担任が主な学習内容を児童の実態に合わせて記載する。

学年別の主な 教育内容 各教科等		主な教育内容		・指導上の区分 ・留意事項
		3年		
生活（特）		・自分の名前を言って自己紹介する。 ・友達や先生の名前を知り、あいさつをする。 ・道路の右側や歩道をきちんと歩く。 ・持ち物や道具を決められた場所に整頓しておく。 ・生き物を探したり植物の観察をしたりして遊ぶ。 ・係の仕事や花壇の作業をし、生活に役立てる。		日常生活の指導 生活単元学習
国語		・絵本や簡単な紙芝居を見たり聞いたり内容を楽しむ。 ・見聞きしたことや経験したことを話す。		国語 日常生活の指導 生活単元学習
社会				
算数		・10を超える数や＋、－などの記号を書く。 ・お金の数え方を知り、簡単な買い物をする。 ・色、形、大きさの弁別ができる。 ・パターンプロックを使って、様々な図形に親しむ。		算数 生活単元学習
理科				
生活				
音楽		・当該学年に準ずる。		音楽 交流学級で学習
図画工作		・好きなものを自由に描く。 ・簡単なおもちゃを作る。 ・身近な物の型押しをする。		図画工作 一部交流学級で 学習
家庭				
体育		・当該学年に準ずる。		体育 交流学級で学習
外国語				
特別の教科 道徳		・気持ちのよいあいさつをする。 ・みんなが使う物を大切にし、約束やきまりを守る。 ・相手のことを思いやり、親切にする。		特別の教科 道徳
外国語活動		・当該学年に準ずる。		外国語活動 交流学級で学習
総合的な学習の時間 (名称：○○○○○)		・当該学年に準ずる。		総合的な学習の時間 交流学級で学習
特別活動	学級活動	・学級内の係の活動を司る。 ・お楽しみ会が楽しくできるような話し合いをする。		学級活動
自立活動		・主として、「1 健康の保持」「3 人間関係の形成」「6 コミュニケーション」を重点的に指導する。		自立活動

※交流学級で学習している場合は、「交流学級で学習」「○学年は交流学級で学習」と記載する。
また、一部の時間のみ該当する場合には、「一部交流学級で学習」と記載する。

※交流学級で学習している場合でも、特別支援学級担任が主な学習内容を児童の実態に合わせて記載する。

[○○○立○○○小学校]

《6年生》

学年別の主な教育内容		主な教育内容	※特別支援学校の内容を扱う場合は、6区区分各段階を参考に文章で記述する。
各教科等		6年	
生活（特）		・道路の右側や歩道をきちんと歩く。 ・持ち物や道具を決められた場所に整頓しておく。 ・生き物を探したり植物の観察をしたりして遊ぶ。 ・係の仕事や花壇の作業をし、生活に役立てる。	生活単元学習
国語		・話を終わりでまで聞いたり、分からないときは聞き返したりする。 ・平仮名、片仮名で書かれた語句を読む	国語 生活単元学習
社会		・第5学年の内容に準ずる。	※教科によって全てを下学年の内容に替える場合は、「第〇学年に準ずる。」と記載する。
算数		・簡単な加法や減法を用いる場る。 ・今日の日付や曜日がわかり、読んだり書いたりする。 ・パターンプロックを使って、様々な図形に親しむ。	算数 生活単元学習
理科		・第5学年の内容に準ずる。	理科
生活			
音楽		・当該学年に準ずる。	※当該学年の内容を扱う場合には、「当該学年に準ずる。」と記載する。
図画工作		・好きな絵を描く。 ・簡単なおもちゃを作る。 ・貼り絵、折り紙、切り絵、粘土などの作品を介助されて作る。	音楽 交流学級で学習 図画工作 一部交流学級で学習
家庭			
体育		・当該学年に準ずる。	体育 交流学級で学習
外国語		・当該学年に準ずる。	外国語 交流学級で学習
特別の教科 道徳		・気持ちのよいあいさつをする。 ・みんなが使う物を大切にし、 ・相手のことを思いやり、親切	※6区分27項目の中から、それぞれ必要とする項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的に指導内容を設定する。
外国語活動			
総合的な学習の時間 (名称：○○○○○)		・当該学年に準ずる。	総合的な学習の時間 交流学級で学習
特別活動	学級活動	・学級内の係の活動をする。 ・お楽しみ会を楽しくできるように話し合いをする。	学級活動
自立活動		・主として、「1 健康の保持」「3 人間関係の形成」「6 コミュニケーション」を重点的に指導する。	自立活動

※交流学級で学習している場合は、「交流学級で学習」「○学年は交流学級で学習」と記載する。
また、一部の時間のみ該当する場合には、「一部交流学級で学習」と記載する。

《1年生》

※「各教科等を合わせた指導」について、関連する教科等を文章で記載する。

[○○○立○○○中学校]

《3年生》

教育課程	指導内容の分類 (内容上の区分)		指導の形態 (指導上の区分)		
	各教科	国語	教科別の指導	作業学習	各教科等を合わせた指導
		社会			
		数学			
		理科			
		音楽			
		美術			
		保健体育			
		職業・家庭			
		外国語			
特別の教科 道徳		特別の教科 道徳			
総合的な学習の時間		総合的な学習の時間			
特別活動	学級活動	学級活動	特別活動		
自立活動		自立活動			

・学校行事、生徒会活動は、交流学級の一員として参加する。

【各教科等を合わせた指導の関連教科・領域】

・作業学習…国語、数学、職業・家庭

※届出書作成の際には、1 ページに 2 学年分を記載するなど、必要に応じて工夫する。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆中学校記載例 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

※特別支援学校（知的障がい）中学部の学習指導要領を参考にした例。検討の手順③で編成した場合。

※交流学級で学習している場合でも、特別支援学級担任が主な学習内容を生徒の実態に合わせて記載する。

【記載例③】における概要記載例 《1年生》

学年別の主な 教育内容 各教科等		主な教育内容		・指導上の区分 ・留意事項
		1 年		
国 語		・ 作文、感想文を書く。 ・ 教科書の音読。 ・ 俳句作り。 ・ 基本的な漢字の習得。		国語 日常生活の指導 生活単元学習
社 会		・ 社会のしくみと暮らしの関係について。 ・ 日本や世界の地理、歴史について。		社会
数 学		・ 四則計算。 ・ 小数、分数の計算。 ・ 生活に計算を応用。		数学 生活単元学習
理 科		・ 植物や動物の観察。 ・ 宇宙や天体について。 ・ 科学的実験の観察。		理科
音 楽		・ 当該学年に準ずる。		音楽 交流学級で学習
美 術		・ 当該学年に準ずる。		美術 交流学級で学習
保健体育		・ 当該学年に準ずる。		保健体育 交流学級で学習
技術・家庭		・ 当該学年に準ずる。		技術・家庭 一部交流学級で 学習
外国語		・ アルファベット。 ・ 英語の挨拶、曜日等。 ・ 簡単な単語の読み等。		外国語 日常生活の指導 生活単元学習
特別の教科 道徳		・ 決まりや約束を守り、節制した生活をする。 ・ 基本的生活習慣を身に付ける。 ・ 友達と協力して、仲間と生活する。		特別の教科 道徳
総合的な学習の時間 (名称：○○○○○)		・ 学校農園活動を通して学習をする。		総合的な 学習の時間
特別活動	学級活動	・ 学級内の係活動を行う。 ・ 自分の進路について考える。		学級活動
自立活動		・ 主として、「2 心理的な安定」「3 人間関係の形成」「6 コミュニケーション」を重点的に指導する。		自立活動

※交流学級で学習している場合は、「交流学級で学習」「○学年は交流学級で学習」と記載する。
また、一部の時間のみ該当する場合には、「一部交流学級で学習」と記載する。

[illegible]

[○○○立○○○中学校]

学年別の主な 教育内容 各教科等		主な教育内容		・指導上の区分 ・留意事項
		3 年		
国 語		- 一部を2年生の内容に替えて取り扱う。 - 基本的な漢字の習得。 - 俳句作り。		国語 作業学習
社 会		第2学年の内容に準ずる。		社会
数 学		- 四則計算。 - 小数、分数の計算。 - 生活に計算を応用。		数学 作業学習
理 科		第2学年の内容に準ずる。		理科
音 楽		当該学年に準ずる。		音楽 交流学級で学習
美 術		当該学年に準ずる。		美術 交流学級で学習
保健体育		当該学年に準ずる。		保健体育 交流学級で学習
職業・家庭		- 木材加工制作。 - コンピュータの操作。 - ティッシュボックス、刺し子布巾制作。 - 調理実習。		作業学習
外国語		- 英語の挨拶、曜日等。 - 簡単な単語の読み等。		外国語
特別の教科 道徳		- 決まりや約束を守り、節度ある生活をする。 - 基本的生活習慣を身に付ける。 - 友達と協力して、仲間と協力して、仲良く生活する。		特別の教科 道徳
総合的な学習の時間 (名称：○○○○○)		当該学年に準ずる。		総合的な 学習の時間 交流学級で学習
特別 活動	学級活動	- 学級内の係活動などを行う。 - 自分の進路について考える。		学級活動
自立活動		主として、「2 心理的な安定」「3 人間関係の形成」「6 コミュニケーション」を重点的に指導する。		自立活動

– 12 –

※原則として、交流学級で学ぶ時間は、週の授業時数の半分以上にならないように設定する。

(3) 交流学級の学習活動への参加

[〇〇〇立〇〇〇小学校]

学年別の 年間時数		3 年	6 年
各教科等		※設定しない教科の欄は斜線を引く。	
国 語			※設定しているが、当該特別支援学級で行う場合は、空欄にする。
社 会			
算 数			
理 科			
生 活			
音 楽		6 0	5 0
図画工作		2 5	1 5
家 庭			
体 育		1 0 5	9 0
外国語			7 0
特別の教科 道徳			
外国語活動		3 5	
総合的な学習の時間		7 0	7 0
特別活動	学級活動		
備 考		・学校行事、児童会活動、クラブ活動、朝の会、帰りの会、給食の時間は交流学級の一員として参加する。 ・児童の実態に応じた交流を進め、交流先の担当者との連絡を密にする。	

※学校行事、朝の会、帰りの会、集会活動など交流学級の一員として参加させている場合は、備考欄に上記のように記載する。

[〇〇〇立〇〇〇中学校]

学年別の 年間時数		1 年	3 年
各教科等		※設定しているが、当該特別支援学級で行う場合は、空欄にする。	
国 語			
社 会			
数 学			
理 科			
音 楽		4 5	3 5
美 術		4 5	3 5
保健体育		1 0 5	1 0 5
技術・家庭（職業・家庭）		4 0	
外国語			
特別の教科 道徳			
総合的な学習の時間			7 0
特別活動	学級活動		
備 考		・学校行事、生徒会活動は、交流学級の一員として参加する。 ・生徒の実態に応じた交流を進め、交流先の担当者との連携を密にする。	

(特別支援学級用)

【記載例】

〇〇〇〇〇第〇〇〇号
令和〇〇年〇月〇〇日

市
〇〇〇町 教育委員会教育長 殿
村

※市町村教育委員会
の定める日

小
〇〇〇立〇〇〇 学校 校長 〇〇 〇〇
中 (公印省略) 印

特別支援学級における特別の教育課程実施報告書 どちらでも可

本校の特別支援学級 〇〇〇学級（障がい種）にかかる令和〇〇年度の教育課程の実施状況を下記
のとおり報告します。

※当該学校で定めた名称を記入する。

記

教育課程の編成と実施に対する成果と課題

※届出書に対応し、成果と課題を記載する。

ア 教育内容の編成について

※記入上の観点

- 1 教育内容が児童生徒の障がいの種類、発達の段階等に照らして適切であったか。
- 2 各教科等間の指導内容相互の関連付けが適切であったか。
- 3 各教科等を合わせた指導が、児童生徒の興味・関心に応じた内容であったか。

イ 指導計画の作成と実施について

※記入上の観点

- 1 週間日課表の組み方で不都合なところがあったか。
- 2 各教科等の週当たり時数が児童生徒の実態に照らして適切であったか。
- 3 年間、あるいは月間の指導計画を展開する上で不都合なことがなかったか。

ウ 交流学級の学習活動への参加について

※記入上の観点

- 1 交流学級における学習活動へ定期的に参加させた場合、教科や時数が適切であったか。
- 2 交流学級との連携・連絡等は適切であったか。
- 3 参加させたことによる成果や児童生徒の変容、あるいは問題等がなかったか。
- 4 参加させなかった場合、その理由など。

[付] 学級編制の状況について

※記入上の観点

- 1 入級した児童生徒の障がいの種類の違いによる問題点はなかったか。
- 2 入級している児童生徒の指導全般についての成果と課題。
- 3 在籍児童生徒の少人数化等に対応し、工夫した点など。

(通級による指導用)

【記載例】

※通級による指導に係る特別の教育課程の届出書及び通級による指導終了報告書は、当該市町村の様式に従うものとする。

〇〇〇〇〇第〇〇〇号
令和〇〇年〇月〇〇日

市
〇〇〇町 教育委員会教育長 殿
村

※市町村教育委員会
の定める日

小
〇〇〇立〇〇〇 学校 校長 〇〇 〇〇
中 (在学校) (公印省略)

印

通級による指導に係る特別の教育課程の届出書

どちらでも可

通級による指導に係る特別の教育課程を下記のとおり編成したので、お届けします。

記

該当する障がい名を○で囲むが、記載の仕方はこれに限らない。

学 年	第 2 学年	性 別		生年月日	成〇〇年〇〇月〇〇日										
ふりがな氏 名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇 〇 〇 〇	通級指導校	校	〇〇〇立〇〇〇〇 校	通級指導教室										
障がい種別	言語障がい 自閉症・情緒障がい 弱視 難聴 学習障がい ADHD 肢体不自由等														
指導時間	週 2 回 2 単位時間														
在 学 校 分	各 教 科										特別の教科道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	計
	教科等	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語				
	週時数	9	/	5	/	3	2	2	/	3	/	1	/	1	26
指 導 内 容	教科等	自立活動													
	週時数	2													
	【指導内容等】 1 指導方針 ・ 指示を素直に受け入れ学習に取り組むことができるよう、心理の安定を図る指導を行う。 2 指導内容 ・ ソーシャルスキルトレーニングを通して自分の言動を振り返り、周囲の人たちと友好的に関わることができるようにする。 ・ 短時間であっても学習課題をやり遂げて認められる経験を積み重ねることで、集中して学習に取り組むことができるようにする。														

※通級指導校分の「指導内容等」の欄は、当該通級指導校と協議し、記載すること。

(通級による指導用)

【記載例】

※通級による指導に係る特別の教育課程の届出書及び通級による指導終了報告書は、当該市町村の様式に従うものとする。

〇〇〇〇〇第〇〇〇号
令和〇〇年〇月〇〇日

市
〇〇〇町 教育委員会教育長 殿
村

※市町村教育委員会の定める日

小
〇〇〇立〇〇〇 学校 校長 〇〇 〇〇 印
中 (在学校) (公印省略)

通級による指導終了報告書

どちらでも可

下記の児童生徒について、通級による指導が終了したので報告します。

記

ふりがな 児童生徒氏名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇 〇 〇 〇	性 別	○
		障がい種別	ADHD
生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	学 年	第2学年
ふりがな 保護者氏名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇 〇 〇 〇		
通級指導校名	〇〇〇立〇〇〇〇学校 通級指導教室		
終了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日		

※「通級による指導終了報告書」を「通級による指導に係る特別の教育課程の実施報告書」とする。

※指導要録の記載について

「総合所見及び指導上参考となる諸事項」において、通級による指導を受けている児童生徒については、通級による指導を受けた学校名、通級による指導の授業時数、指導期間、指導の内容や結果等を記入する。(文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室)